

2020年度 久米島高校魅力化

2021.3.5



久米島高校魅力化事業の経緯

平成21年、沖縄県教育委員会より園芸科の廃科についての連絡を受ける。

- 町をあげて存続を求める署名運動や廃科反対の決議、総決起集会などを行い、県への要請行動を取る。
- 町内有志による「久米島高校の魅力化と発展を考える会」を組織し、地域と高校が一体となって高校魅力化に取り組み始める。

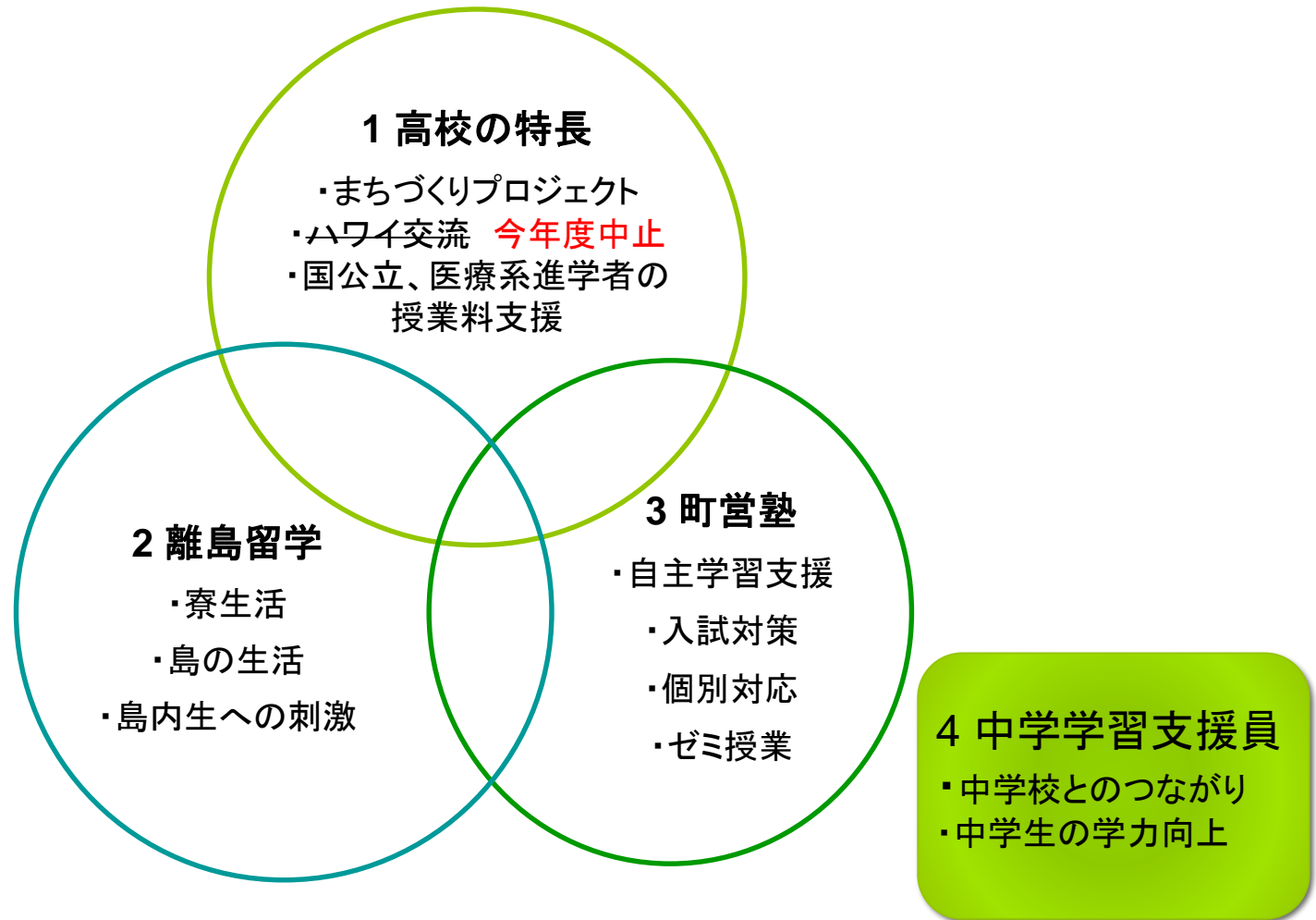
沖縄県の県立学校編成整備計画にて、

「平成25年度入学生をもって園芸科の募集停止」(前期計画)の予定だったが、
「平成28年度入学生をもって園芸科の募集停止」(中期計画)に延期。

平成29年度以降も、園芸科廃科は延期が続いている。

久米島高校魅力化の目的と4つの柱

生徒、保護者、地域の人、教職員にとって、魅力のある高校づくり



2020年度 活動

●広報活動

・「地域みらい留学」での
学校紹介

● 学校パンフレット作成と
配布

- 島外希望者
- 島内中3生、中学校全教員
- 島内小学校校長

● 久米島高校魅力化HP
更新

● 離島留学生の選考

●その他活動

● 高校と寮、里親との連絡

● 「総合探究」授業の補佐（島内講師紹介、授業補佐）

● 課外での「探究」活動

- （全国の高校生探究活動発表会「マイプロ」への参加）

● 小中学校との交流

- 球美中学校 「なぜ学ぶのか」
- 久米島小学校 「エネルギー教室」
- 仲里小学校 「エネルギー教室」「わくわくワーク」

● 中学校進路アンケート

● 「魅力化を考える会」運営

今後の魅力化プロジェクトの課題

■ 島内中学生の減少と離島留学生受け入れ数の限界

前年度は里親制度の拡充を考えていた → うまくいった家庭もあるが、トラブルもある 学校の負担増

次年度は里親ホームステイは一旦休止 → 今後どうするかを考える

■ 島内進学率の担保

年度	2018	2019	2020
久米高進学者	55人(77%)	46人(64%)	61人(81%)

2020年度は、**61/75名が島内生** → 島内進学率を安定させていく方法を考える

■ 事業の継続性

町営塾のスタッフ5名、町営寮のスタッフ3名。中学支援員4名は、『地域おこし協力隊』の制度で雇用しており、任期は3年まで。 → 今後どうするかを考える

■ 町と高校の連携

町の望むこと、できること、高校の望むこと、できることをしっかり **話し合う場が必要!**